

三井石油開発（株） 殿

蒸気噴出に関する環境影響評価委員会
委員長 佐藤 努

土壌調査（積雪前）の降雪による中止の報告と今後の対応について
（答申）

2023年12月4日付けで諮問があった「土壌調査（積雪前）の降雪による中止の報告と今後の対応について」について、これを認める。ただし、下記を条件とする。

諮問事項 1. （水質モニタリング）について

- ・ 測定項目に水温を測定すること
- ・ 融雪期には調査頻度を高め、濁りがないかなどについても留意すること

諮問事項 2. （融雪後の土壌調査）について

- ・ 安全を十分に確認できた段階で、できるだけ速やかに調査を行うこと

以 上

参考：各委員の意見

委員	意見
佐藤 委員長	<p>(諮問事項 1. について) モニタリング計画案に賛成する。</p> <p>(諮問事項 2. について) 積雪時に入山する危険の回避が確認できた段階で、速やかに調査を行っていただきたいと思う。</p>
五十嵐 委員	<p>(諮問内容について) 了解した。 測定項目に水温を加えた方がよいと思う。</p>
石塚 委員	<p>本件、提案の今後の対応について、異論はない。 積雪まで準備がぎりぎりであったことも理解している。</p>
竹田 委員	<p>本件、異論はない。</p>
吉田 委員	<p>作業中止の件、冬季積雪のためやむを得ないと思う。</p>
脇田 委員	<p>ヒ素等流出物に関しては地道に測定を続けていくことが重要と考えるので、提案の対応は適切だと思う。異論はないが、私も渡部先生の意見のとおり、融雪期には調査頻度を高め、濁りがないか等についても気にする必要があるかと思う。</p> <p>また、白色堆積物等土壌調査に関しては、積雪による調査の中止はやむを得ないと思う。笹の上にも積もった雪は滑りやすくかなり危険なので、調査する方々の安全面の上でも中止が妥当と考える。融雪後は、調査する方々の安全をしっかりと確認した上で、できるだけすみやかに調査を行っていただければと思う。</p>
渡部 委員	<p>積雪が多い状況での土壌サンプリングは困難であるので中止はやむを得ないと思う。水質モニタリングの継続についても賛成する（融雪期に入った時期からは頻度は多めにしてもよいかもしれない）。</p>